

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	その他専門店〔酒〕（経営者）	・暑くなると飲物が売れることに加え、中元の時期となるため、売上は増加するとみられる。
	○	コンビニ（商品担当）	・中東情勢の影響が落ち着き、平準化することを期待する。
	○	家電量販店（店員）	・季節商材とボーナス商戦で販売量の増加が見込まれる。
	○	家電量販店（副店長）	・引き続き前倒しの需要があると考えるが、その先については一旦売上が減少するとみられる。
	□	商店街（代表者）	・イベント等への来場者数は、かなり増加している。夏に向けていろいろなイベントを準備しているが、集客に対するマインドが段々高まっているようにみられる。
	□	商店街（代表者）	・郊外志向により、中心街から食品量販店が消える流れは、地方都市の存続に大きな課題を与えてきた。ウォークアブルな街づくりが、中長期的に中心市街地の活性化につながる可能性がある。
	□	商店街（代表者）	・原材料の価格上昇や入荷遅れが継続する状況であり、しばらくは顧客動向も現状のまま鈍い状況となっていく心配がある。
	□	商店街（常務理事）	・中東情勢を背景とする食料品や生活用品の相次ぐ値上げにより、今後も生活防衛色の強い消費行動に終始するとみられ、ここ数か月は環境の改善に期待を持っていない。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・記念日や祝い事、お供えなど必要性の高い贈答品は、物価上昇を踏まえ予算を引き上げた注文が入るようになってきた。一方で、高額商品の注文は少し減ってきている。
	□	百貨店（企画担当）	・中東情勢や長引く物価上昇、コスト高で、消費動向は先行きが見通せない。
	□	百貨店（企画担当）	・中東情勢の影響等、先行きに不透明感がある。
	□	スーパー（店長）	・同じような状況が続いており、今後もしばらくは継続する。
	□	スーパー（企画担当）	・消費者の節約志向は依然として強く、買上点数等については減少傾向が続く見込みである。
	□	コンビニ（総務）	・6～7月は芸術祭終了後の反動減はなく、維持できる見込みであるが、8月は厳しくなるとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・商品単価の大幅な上昇により販売量が少し減少しているため、この状態が継続すると厳しい。
	□	衣料品専門店（経営者）	・ここ何か月かの動きを見ていると、インバウンドの需要以外は消費は増えないのではとみられる。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・物価が高止まりしている。顧客との会話のなかでも物価高が意識されているため、改善の傾向を余り感じない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・人気車種の受注制限があり、近いうちに再度販売停止となる予定であるため、継続的な改善にはつながりそうにない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・部品や油脂の欠品等の影響が徐々に出ており、長引くようであれば売上にも響く可能性がある。
	□	一般レストラン（経営者）	・例年、5～6月の売上は低調である。また、値上げを実施しているため、来客数に影響を与える。
□	観光型旅館（経営者）	・オンハンド状況においては、単価の上げ幅によって増減はあるが、集客は見込める。	
□	都市型ホテル（経営者）	・中東情勢の影響については、相変わらず先が見通せない。一方、10月末から12月初めは、イベントの影響で多くの来県者が見込まれ、多忙となることが予想される。	
□	タクシー運転手	・タクシーの台数は増加しておらず、今後も増加する要因はみられないことから、現状のまま推移する。6月からの度重なる物価の上昇やタイヤ等の車両維持費の上昇で、小遣いが減少するという声が多く聞かれる。女性からは、家計や食費の捻出が大変という声があり、飲食に回る金額が少なくなるのではと判断する。	
□	通信会社（営業担当）	・来客数は大きな増減はないが、エアコン需要の客が非常に増加している。この動きはしばらく続く見込みである。	
□	通信会社（営業部長）	・例年の動きと同じであり、暑さから外出機会の減少も懸念されるため、変わらないとみられる。	
□	観光遊園地（主幹）	・大型イベントなどもなく、現時点で変動要因がない。	
□	美容室（経営者）	・物価の上昇で買い控えの傾向が続くとみられる。	

	▲	一般小売店〔文具店〕 (経営者)	・ナフサなど石油由来の原料不足の影響により、一部入荷しない品物がある。テープ類は夏も入荷の見込みはなく、状況は相当厳しい。
	▲	一般小売店〔酒〕(経営者)	・中東情勢の影響により更に不景気になり、買い控えに拍車がかかる。
	▲	スーパー(店長)	・中東情勢の影響による石油関連製品の不足や値上げ、また、今後想定されるエネルギー関連費の高騰の影響により消費が落ち込むと予想する。
	▲	スーパー(企画担当)	・今後、包材資材関係が値下がりするとは考えられず、生鮮食品を加工する場合に必要なマスク、手袋などの値上げも既に進んでいるため、値上げ幅はかなりのものになる。その結果買い控えなどが発生し、売上にも影響が出てくる。
	▲	スーパー(統括担当)	・トレイなどの石油由来商品の値上げが事前の十分な調整なく通知されるケースもみられる。あらゆる物の値上げが心配である。
	▲	スーパー(財務担当)	・物価上昇が続いており、実質賃金が減少し節約志向が更に進む。
	▲	スーパー(人事)	・ナフサ不足による価格上昇や物資不足が生じている。こうした状況に対する政府の認識と、民間企業や消費者が実感する現場の状況との間にかい離がみられ、その差は今後更に拡大すると懸念している。
	▲	コンビニ(店長)	・来客数が前年を下回っている。インフレにより商品価格が上昇し、客単価は上昇しているが、買上点数は減少している。
	▲	コンビニ(店長)	・良くなる材料に乏しく、現状の減少傾向が続く見込みである。ただこの先石油製品の供給に支障が生じた場合には、商品や包材等の資材不足により、販売活動に影響が及ぶことを懸念している。
	▲	乗用車販売店(役員)	・物の不足による商品やサービスの価格の上昇を懸念する。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕(館長)	・繁忙期であることと、今月が非常に良い数字が出ていることもあり、今より落ち着くと考えている。
	▲	その他飲食〔ファーストフード〕(経営者)	・今後数か月は、今の状態が続く。
	▲	旅行代理店(部長)	・中東情勢や物価高の影響により消費マインドは低下する。
	▲	美容室(経営者)	・すぐに状況が良くなるとは考えられない。
	▲	設計事務所(所長)	・資材や機器が現場に入りづらくなっており、工事が中断するといった事態も発生している。数か月後にまでこの状態が続くと減速する可能性が出てくるとみられる。
	×	衣料品専門店(経営者)	・中東情勢の影響による。
企業 動向 関連  (四国)	◎	—	—
	○	繊維工業(経営者)	・消費者は燃料費や生活関連費の上昇で苦しんでいるが、我々の繊維雑貨は比較的単価のものが多く、それほど需要が減少しているようにはみられない。
	○	建設業(経営者)	・公共事業はこれからどんどん発注があるとみている。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業(経理)	・ウェットクリーナーは供給過多になっている。価格が低い物が売れる傾向にあり、原料費の上昇を価格転嫁しにくい。今後も改善される見込みはなく、現状の打開は難しい。
	□	化学工業(所長)	・価格上昇は避けられない。各業界の工夫を経て対処することで結果的に全体の景気は変わらないとみられる。
	□	一般機械器具製造業(経理担当)	・依然として不透明感は強い。
	□	電気機械器具製造業(経営者)	・開発した竹の資源の販売は、カーボンニュートラルの浸透により軌道に乗りつつある。
	□	建設業(経営者)	・資材の調達が厳しい。
	□	通信会社(総務担当)	・販売は今後も同程度の水準で推移する予定である。
	□	通信業(企画・売上管理)	・大型スポーツイベントに絡めたメーカーや流通のキャンペーンを期待する。
	□	不動産業(経営者)	・中東情勢の影響による景気の落ち込みからの回復は、時間が掛かるとみられる。
	□	税理士事務所	・現状が改善する要因がない。

	▲	食料品製造業（経営者）	・中東情勢の影響により、包材、資材、原材料費、燃料費が上昇しており、全てを製品価格に転嫁できていない。また、包材、資材、原材料の仕入れも、入荷制限や入荷停止等になる不安がある。販売休止となり、売上減少となることを懸念する。
	▲	食料品製造業（商品統括）	・収入の増加以上に物価が上昇しており、将来の不安が解消されていない。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	・中東情勢の影響を受け資材価格が相当上昇している。早急に価格転嫁交渉を行い利益の確保を行いたい。
	▲	鉄鋼業（総務部長）	・仕事量はやや増えているが、仕入価格の上昇が利益率を圧迫している。
	▲	電気機械器具製造業（経理）	・中東情勢の影響により、石油関連製品の供給不足による物価上昇が更に進行する。政府の補助が予定されているが、経済全体への影響は避けられず悪化傾向であるとみられる。
	▲	輸送業（経営者）	・今の状態が続くと、良くならないとみられる。
	▲	金融業（副支店長）	・中東情勢の影響で、材料が入らず受注できなくなる。客からは、7月から値上げが始まる等の話があった。実際に材料不足で受注できないところについては、売上や利益に大きな影響がある。
	▲	広告代理店（経営者）	・中東情勢等の影響もあり、建築や資材調達コストが著しく上昇している。好調であったホテル関係もコストダウンを図っている。多くの客先の広告出稿等にも影響が出始めており、やや悪くなるとみられる。
	×	広告代理店（経営者）	・中東情勢の影響によるナフサ供給不足がいつ解消されるかが見通せない。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（経営者）	・夏休みに向けての短期アルバイト募集の増加が予想される。
	□	人材派遣会社（総務部長）	・最低賃金引上げ具合による。
	□	人材派遣会社（オフィス責任者）	・良くも悪くも現状が劇的に変化するようなきっかけがない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・民間は景気が悪いが、官公庁については観光を中心に悪くはない。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・求人状況は例年と大差なく、景気に変化はみられない。外国人留学生向けの求人については減少傾向で、高度人材を目指す留学生については就職活動でかなり苦戦している。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・中東情勢の影響、あるいは物価上昇の影響が今後どう出てくるか先行きが不透明である。
	▲	求人情報誌（営業）	・中東情勢の影響に左右されるが、ナフサ等原材料関係の先行きが不透明である。各社とも受注控えが起こっている。まだ解決の糸口がみえないため、この先も景気は悪くなるとみられる。
	×	職業安定所（求人開発）	・資材不足の影響から事業所の経営が厳しくなり、雇用にも波及するとみられる。運送コスト等もかなりアップしており、それが事業所で吸収できない場合、商品単価に影響し、景気は更に悪化するとみられる。